

NPO・ボランティア部門

受賞者： ^さ迫田 ^と時雄 (77歳)

特定非営利活動法人国際障害者ピアノフェスティバル委員会 会長



迫田氏は、武蔵野音楽大学卒業後、音楽教育に携わる中で障害を持つ子供が音楽を純真に楽しみ、かつ、ひたむきにピアノ練習に取り組む姿、そしてその素晴らしい能力に感銘を受けた。一方で心身の障害ゆえにピアノを弾きたくても指導を受けられない事例があることを知り、平成 13 年に「日本障害者ピアノ指導者研究会」を設立し、障害児・者のピアノ指導法の研究と指導者育成に尽力するとともに、障害児・者が日ごろのレッスンの成果を発表し、聴衆とともに歓びを分かち合う場としてコンサートを各地で開催し、障害者の社会参加と自己実現に大きく貢献している。

近年、その活動の場を世界に広げ、平成 16 年「国際障害者ピアノフェスティバル委員会」を発足し委員長としてこれまで複数回のピアノフェスティバルを成功裏に導いた。これらの活動が評価され、平成 25 年には「NPO 法人国際障害者ピアノフェスティバル委員会 (CIPFD)」の認証を受け、代表を務めている。

今後は 2015 年東京での「アジア・汎太平洋国際障害者ピアノフェスティバル」の開催や次期「国際障害者ピアノフェスティバル」の開催を企画するなど、精力的に国内外で活動を展開している。

推薦者： 渡辺 孝男 米沢市立病院 病院長